

居合道たより 49号



居合道ながさき



『琵琶の木に 琵琶の花咲く 冬至なる』 (北原白秋)・・・冬至

冬至とは、北半球において日の出から日の入りまでの時間がもっとも短い(=夜が長い)日のことです。冬至の日程は天文学的に決まり、今年(令和6年)は12月21日です。南半球では同じ日が、もっとも昼の時間が長い日です。なぜ夜が長くなるのでしょうか？ひとことで言うと、「地球の回転軸が傾いているから」です。冬至では南瓜に含まれるビタミンなどの緑黄色野菜で冬を乗り切るために南瓜を味わって栄養をつけるようにしています。このことは明治以降に生まれた比較的新しい習慣と考えられています。また、冬至の風習には柚子湯(ゆずゆ)で心と体を癒すという習慣が江戸時代からあったようです。「東都歳事記」によると、「冬至 今日銭湯風呂屋にて柚湯を焚く」との記述があり、「冬至」を「湯治」にかけ、「柚子」を「融通が利く」(=体が丈夫)にかけて、お風呂屋さんが始めたこととされています。



写真：琵琶の花

居合道の稽古も春までは各自が地道に基本を大切に続けていきたいものです。居合道の稽古を通して、冬の寒さに負けない体づくりをしておきたいものです。

お知らせ(1)・・・第2回県居合道委員会・居合道理事会 開催

標記の委員会及び理事会を令和7年1月26日(日)三菱重工記念館103号室にて開催いたします。居合道委員及び居合道理事の皆様のご出席をお願いいたします。

1. 日時 令和7年1月26日(日)
 - ①居合道委員会 13時00分～14時50分
 - ②居合道理事会 15時00分～16時30分
 - ③居合道監査 16時30分～17時00分
2. 会場 三菱重工記念館103号室 (左記の場所へ変更になっています)
3. 内容
 - 1) 令和6年度事業報告
 - 2) 令和7年度事業計画(特に秋季講習会、演武大会)及び予算案
 - 3) 令和7年度長崎県剣道連盟居合道部功労賞選出について
 - 4) 令和7年度当番地区割について
 - 5) 居合道部役員分担及び居合道理事役割について

報告(1)居合道中央審査会 (江戸川スポーツセンター)

居合道七段 入江紀弥(友剣会・島原市) 合格！！

令和6年11月30日(土)東京都江戸川スポーツセンターで開催された居合道七段・六段審査において、居合道七段に入江紀弥(友剣会・島原市)が合格をしました。日頃から剣居一体の稽古に励み、剣道教士七段に加え、居合道の稽古に対する熱い思いや弛まぬ努力の成果が現れたのだと思います。おめでとうございます。令和7年2月1日(日)に京都市で開催される居合道七段・六段審査においても受審される先生方が合格できますようお祈り申し上げます。

| | |
|---|---|
|  |  |
| 居合道錬士七段 入江紀弥(友剣会・島原市) | 長崎県居合道段別選手権大会にて |

お知らせ(2)・・・第26回県下剣道祭で紅白試合

令和6年12月15日(日)、三菱重工総合体育館にて開催されます。昨年同様に日本剣道形試合の後、紅白試合(居合道、杖道、剣道)が行われる予定です。

居合道部からは先鋒、中堅、大将の対戦方式の紅白試合をします。紅白試合は昨年同様に長崎県居合道段別選手権大会と同じ方式で実施する予定です。選手は今年度の全日本居合道大会の強化選手です。審判は主審、副審が正面に長机の位置に椅子に座って、判定の時に立ち上がり、判定の紅白の旗を揚げ、判定をします。選手は開始線に立ち、正面への礼、刀礼、帯刀、試合、刀礼、正面への礼、待機、判定、退場の順で実施します。指定技は古流2本(自由)と全日本剣道連盟居合2本で対戦します。

| 紅軍 | | 白軍 | |
|------|--------|------|------|
| 中村香織 | 静心会 | 作永憲昭 | 葉志塾 |
| 畑中健佑 | 遊道会遊会 | 井口隆好 | 友弼会 |
| 塩土宗喜 | 友弼会 | 宮崎大輔 | 友弼会 |
| 審判員 | | | |
| 高木志伸 | 居合道部長 | 主審 | 佐世保市 |
| 小林保彦 | 居合道部顧問 | 副審 | 雲仙市 |
| 中村武文 | 居合道委員 | 副審 | 南島原市 |

報告(2)・県連主催 二道(居合道・杖道)体験会

令和6年11月9日(土)諫早市森山スポーツ交流館において標記の体験会が実施されました。本県剣道連盟の事業重点事項に「三道(剣道・居合道・杖道)の交流を図り、それぞれの技術向上を図る。」と掲げられています。また、三道を通しての親睦及び技術向上並びに資質向上の体験会を行う事を目的としています。

その事を受け、剣道経験者や剣道連盟一般会員を問わず、中学生・高校生を含めた体験会となりました。体験会の体系は参加者を2グループに分け、午前中A班を居合道体験、B班を杖道体験、午後からはA班を杖道体験、B班を居合道体験としました。

講師には杖道錬士七段橋本幸一先生による杖道体験、居合道教士七段高木志伸先生による居合道体験の講話及び実技指導がありました。剣道八段の先生方や剣道を始めたばかりの中学生が初めての体験に目を光らせながら取り組んでいました。

【杖道体験会プログラム】

各班 2 時間

講義①(10分):杖道のあらまし

実技①(20分):所作、着装・礼(神座への礼、刀礼、相互の礼)

休憩①(10分)

実技②(30分):打ち太刀、仕杖体験(切り付け、刃筋、間、間合)

休憩②(10分)

実技③(20分):全日本剣道連盟杖道

実技④(15分):受講者演武 全日本剣道連盟杖道を演武

模範演武(橋本幸一講師、東翔太郎講師補助)

講義②(5分):まとめ

【居合道体験会プログラム】

各班 2 時間

講義①(10分):居合道のあらまし

実技①(20分):所作、着装(袴の十字結び、帯の締め方) 礼(神座、刀礼、相互礼)

模範演武(高木志伸講師、作永憲昭講師補助)

休憩①(10分)

実技②(30分):納刀(に日本剣道形に必要な納刀)、手の内、抜きつけ、血振り

休憩②(10分)

実技③(20分):全日本剣道連盟居合 1本目(前)

実技④(15分):受講者演武 全日本剣道連盟居合を演武

講義②(5分):まとめ

『二道体験会に参加して』 諫早市剣道協会 中島勇太

自分は剣道を小さい頃からやっています。今回、初めて「居合道」、「杖道」を体験して、剣道と違う所作や道具の使い方など勉強になりました。居合道についての説明で印象的だったのが、「人に斬られず人斬らず」という考え方です。話し合いで解決するのが1番だが、相手が切りかかってきた時に初めて対抗するために相手を切るという考え方は剣道とは少し違って面白いと思いました。また、模擬刀はとても重く、鞘に収める動作も一苦労でした。杖道は竹刀よりも長い杖を用いて、手の内を滑らせるように振り下ろします。初めてやってみましたが、思いの外難しく、奥が深いと感じました。居合道や杖道を知らない剣道人にぜひ体験して欲しいと思います。



全剣連居合 11本目を演武する剣道八段の先生



剣道八段の先生方も熱心に杖道体験



全員で全日本剣道連盟居合道 3本を演武しました



杖道の所作に戸惑いながら実技体験



全日本剣道連盟居合道 1本目の説明



杖道の所作について説明する橋本講師